

### 平成28年8月資金需給予想

	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	主要項目	日銀調節
1(月)	1,000	▲ 21,500	▲ 20,500	TB3M発行▲44000償還30300	全店共通(固)5100・▲4000 CP買入▲100 国債補完500・▲200
2(火)	700	▲ 13,200	▲ 12,500		CP買入▲100 社債買入▲100 ETF買入300 国債補完200・▲300
3(水)	600	▲ 46,700	▲ 46,100	年金保険料揚げ 法人税・消費税揚げ 申告所得税揚げ	国債買入9000 短国買入12500 CP買入▲100 社債買入▲100 国債補完300・▲500
4(木)	100	▲ 20,300	▲ 20,200	10Y発行▲24000 交付税借入▲10500期日10500	CP買入▲100 ETF買入100 国債補完500・▲1200
5(金)	100	3,000	3,100		国債買入8000 CP買入▲600 社債買入▲100 国債補完1200・▲500
6(土)			0		
7(日)			0		
8(月)	800	▲ 3,500	▲ 2,700	TB3M発行▲44000償還43700 10Y物価連動発行▲4000	全店共通(固)2000・▲4800 CP買入▲200 国債補完供給▲300・500
9(火)	2,000	▲ 5,000	▲ 3,000	交付税借入▲10500期日10500	全店共通(固)200・▲100 短国買入15000 国債買入12500 CP買入3500 国債補完供給300
10(水)	0	▲ 16,000	▲ 16,000	TB6M発行▲35000償還19800	
11(木)			0		
12(金)	▲ 1,000	▲ 8,000	▲ 9,000	30Y発行▲8000 交付税借入▲10500期日10500	全店共通(固)▲100
13(土)			0		
14(日)			0		
15(月)	0	36,000	36,000	源泉所得税揚げ 社会保障費・年金定時払い TB2M発行中止 TB3M発行▲44000償還31500 2Y発行▲23000償還6100 個人向け3Y・5Y・10Y発行▲3000 (見込) 個人向け3Y償還800	全店共通(固)▲5100
16(火)	1,000	▲ 1,000	0		
17(水)	0	3,000	3,000		
18(木)	▲ 1,000	▲ 3,000	▲ 4,000	流動性供給▲4000	
19(金)	▲ 1,000	2,000	1,000	エネルギー借入▲5000 (見込み) 期日5000	CP買入3500
20(土)			0		
21(日)			0		
22(月)	0	▲ 47,000	▲ 47,000	TB3M発行▲44000償還39300 TB1Y発行▲25000償還5600 5Y発行▲24000	
23(火)	▲ 1,000	2,000	1,000	交付税借入▲10500期日10500	
24(水)	▲ 1,000	▲ 2,000	▲ 3,000		
25(木)	▲ 1,000	▲ 11,000	▲ 12,000	20Y発行▲11000 国有林野借入期日1400	
26(金)	▲ 2,000	0	▲ 2,000		被災地支援▲400
27(土)			0		
28(日)			0		
29(月)	0	▲ 11,000	▲ 11,000	TB3M発行▲44000償還33800 流動性供給▲5000	
30(火)	0	2,000	2,000		
31(水)	▲ 1,200	▲ 1,500	▲ 2,700	交付税借入▲10500期日10500	CP買入3500

計	▲ 2,900	▲ 162,700	▲ 165,600
---	---------	-----------	-----------

今月は、3日に税・保険料揚げ、15日に年金定時払い・源泉所得税揚げがある。

主な不足日 (見込み) 1日、2日、3日、4日、10日、22日、25日、29日 主に財政等要因  
主な余剰日 (見込み) 15日

## ◆日銀当座預金増減要因（2016年8月見込み）出所：日本銀行

	見込み	前年実績	前年同月比	銀行券当月末残高 前年同月比見込み
銀行券要因	▲ 3,900	▲ 3,435	▲ 465	6.0%
財政等要因	▲ 168,000	▲ 141,918	▲ 26,082	
国債等	▲ 102,200	▲ 96,169	▲ 6,031	
国庫短期証券等	▲ 75,900	▲ 63,818	▲ 12,082	
上記を除くその他	10,100	18,069	▲ 7,969	
資金過不足	▲ 171,900	▲ 145,353	▲ 26,547	

日本銀行が金融機関等から買入れた国債・国庫短期証券が償還を迎えた場合には、上表の国債等・国庫短期証券等の償還には含まれない扱いとなっている。  
日本銀行が国債買入オペ等を通じて前月末までに取得した国債の当月における償還額は21,900億円程度。  
日本銀行が国庫短期証券売買オペを通じて前月末までに取得した国庫短期証券の当月における償還額は74,400億円程度。

## ◆財政資金対民間収支（2016年8月中見込み）出所：財務省

区分	見込み	前年実績	前年同月比
一般会計	21,230	24,498	▲ 3,268
租税	45,190	46,071	▲ 881
税外収入	1,520	1,904	▲ 384
社会保障費	▲ 13,940	▲ 12,179	▲ 1,761
地方交付税交付金	▲ 1,220	▲ 1,174	▲ 46
防衛関係費	▲ 3,270	▲ 3,253	▲ 17
公共事業費	▲ 1,740	▲ 1,656	▲ 84
義務教育費	▲ 940	▲ 939	▲ 1
その他支払	▲ 4,370	▲ 4,276	▲ 94
特別会計	▲ 34,310	▲ 39,010	4,700
財政投融资	3,590	250	3,340
外国為替資金	0	▲ 383	383
保険	▲ 36,450	▲ 37,070	620
その他	▲ 1,450	▲ 1,664	214
前年度限りの会計等	0	▲ 142	142
一般会計・特別会計等小計	▲ 13,080	▲ 14,512	1,432
国債等	102,180	96,169	6,011
国庫短期証券等	75,930	63,818	12,112
国債等・国庫短期証券等小計	178,110	159,988	18,122
調整項目	70	363	▲ 293
総計	165,100	145,839	19,261

## ◆2016年8月の主な不足日・余剰日の見込み

主な不足予定日は、1日（TB3M発行超過）、2日（税・保険料揚げの前倒し）、3日（税・保険料揚げ）、4日（10Y発行）、10日（TB6M発行超過）、22日（TB3M発行超過、TB1Y発行超過）、25日（20Y発行）、29日（TB3M発行超過・流動性供給）。主な余剰日は、15日（年金定時払い）。

## ◆2016年8月の短期金融市場予想

### ●コール市場

月初に国債の発行超過や税・保険料揚げといった揚げ要因が多く見られ、月の中盤には年金定時払いといった大きな払い要因がある。無担保コールO/N加重平均レートは月中盤まで小高く推移し、その後は緩やかに低下すると予想する。

### ●CP市場

量的・質的金融緩和政策が開始されて以降、金融法人は発行残高を削減し続けてきたが、ここに来てその動きも一服しつつある。また、事業法人は夏季休暇に入るため、市場発行残高は7月と横ばいの推移が見込まれる。発行レートは引き続き0%近傍となることが見込まれ、マイナスでの発行はほぼ見られないと予想される。

### ●短国市場

7月の金融政策決定会合で政策金利が据え置かれたことで、債券市場全体に買われ過ぎていたことへの反動が出ており、3M物のレートは▲0.20%台に上昇している。今月の短国買入オペは1～2兆円弱程度が毎週末実施されると見込まれる。7月と比較して短国買入オペのオフアール額が減少すると見込まれるため、ここからレート水準が低下することは考え辛い。ただ、一定以上のレートでは海外勢からの買いが入ると予想されるため、一方的に上昇する事も無いと考えられる。全体的に横ばい～若干上昇程度での動きとなることが予想される。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。  
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。